土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一般国道　432号　測量設計地質用地調査業務委託（交通安全・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	R4-1	**調査位置**	広島県庄原市高野町新市			**北緯**	35° 01′ 51.0529″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 11月　1日 ～ 2022年 11月　7日	**東経**	132° 56′ 8.2758″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 564.99m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	東邦D1
総削孔長	9.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD13	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂質土		褐灰	rd2			盛土 φ=7cmまでの硬質な礫を含む。礫含有量は深度により異なり、部分的に濃集する。 マトリックスは砂質土で細粒分を含む。	
2	562.99	2.00									
	562.29	2.70		砂質シルト		暗褐		rc2		旧表土 細砂を多く含むシルト。含水量は少ない。	
3							rd2				
4				砂礫		褐灰				旧河床堆積物 コア長7cmまでの硬質な礫を多く含む。礫径、含有量は深さ方向に増加する。 マトリックスには細粒分を含み、含有量は深さ方向に減少する。	11/04 3.84
							rd3				
5	559.79	5.20									
6				凝灰岩		灰				凝灰岩（CM級主体） 短柱状～長柱状コアとして採取され、コア肌滑らかで岩片硬質。 深度7.2m付近に、厚さ1.5cmの粘土を伴う傾斜10°の劣化部があり、この深度を境に岩質が変化する。 傾斜30～60°程度の割れ目が卓越し、十数cm～数十cm間隔で入る。割れ目面は褐色化しているものが多い。	
7											
8											
9	555.99	9.00									
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度－N値図　0　10　20　30　40　50

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	2	2	2	6/300		
	1.45						
5	2.15	2	2	2/150	6/350		
	2.50						
11	3.15	4	3	4	11/300		
	3.45						
28	4.15	11	8	9	28/300		
	4.45						
300	5.10	50/50			50/50	50	
	5.15						
	6.00	50/0			50/0		
	6.00						
750	7.00	50/20			50/20	20	
	7.02						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.00					
1.45	P-1	⊖	密度・含水比・粒度・液塑性		11/1
2.00					
2.50	P-2	⊖	密度・含水比・粒度・液塑性		
3.00				E=2.36E+03kN/m²	
3.55	P-3	⊖	密度・含水比・粒度	孔内載荷試験	
4.00					
4.45	P-4	⊖			11/2
5.00					
5.15	P-5	⊖			
					11/4